

「訪問活動心得」

1.住宅地図を塗りつぶせ！

訪問が終わったら、案内していただいた方と訪問した家を住宅地図で塗りつぶせ。選挙が終わったら、また一人で4年間の活動が待っている。その時、頼りになるのは自分で塗りつぶした住宅地図。

2.案内役に喜んでもらえる訪問活動を！

「今日はおよろしくお願ひします」と案内役に従順につれ回してもらって、案内者が「案内してよかった」と思っていていただくことが大事。知っている地域だからと勝手に軒並みまわったり、案内役の前を歩くな！

3.「選挙の時だけ頭を下げに来る」

訪問していけば必ず跳ね返ってくる言葉。しかし、決して言い訳してはいけない。また、そのような家庭は必ず◎でマークしておき。選挙が終わったら一覧表にして、常時訪問対象者として管理すること。

4.名刺より「手作り新聞」

名刺もいいが、手作りの「〇〇通信」、「〇〇レポート」などは有効。ただし、要点を要領よく、大きな字で読みやすく。

5.ご主人や若者に最大の敬意を！

訪問すれば、玄関に出てきてくださるのは大抵に奥さん。しかし、ご主人や、世帯主へのあいさつをおろそかにするな。また、息子さんや、娘さんには敬意を払うこと。将来の有権者である。

6.時代は暗い、笑顔で。高齢者には丁寧に！

暗い時代、訪問する候補者が「しけた表情」では、固まる票も固まらない。元気に、笑顔で、さっそうと。また、私たちが訪問してお会いできるのは圧倒的に高齢者なのだから、高齢者には言葉はゆっくりと、丁寧に。

7.ゴールデンタイムは5時から8時。

一番、人に会える時間帯は夕方の5時から8時。この時間を最大限に活用し、集中しよう。みんなが食事の時に同じように食事し、みんなが休んでいるときに同じように休んでいては、戦いにならない。

8.街角の〇〇屋さんを大事に

クリーニング屋さんや、酒屋さん、八百屋さんなどは地域住民の皆さんのたまり場。それだけに候補予定者の様々な情報が飛び交う地域情報拠点。細心の注意を払って、丁寧なあいさつを。

9.他候補をけなすな、ほめてあげよう

市町議選になれば、あれやこれやと関係をとどってたくさんの候補者が、出入りする。時には、他党の候補者とかちあったりする。そのとき、決して非難したりしてはいけない。一步下がってほめてあげよう。「先輩議員を立てることができるんだ」「後輩議員にも謙虚なんだ」との印象を置いてくれるかどうか、ポイント。

10.多くの人たちの支えを忘れるな

「1人の候補者をきちんと勝たせるために、どれだけ多くの人たちが心労を尽くして、手を打っていただいていることか」という事を忘れてはならない。また100周年への大事な戦いに、「候補者として、戦わせていただいていること」を決していい加減に考えてはいけない！